

# にかほ市と外国人技能実習生

10月、にかほ市工業振興会の皆さんと共にベトナムを訪問しました。訪問目的は二つです。一つは、今年の5月に友好協定を締結したフンイエン市への表敬訪問。もう一つは、ハノイ市とホーチミン市にある技能実習生の送り出し機関の視察です。

## ■外国人技能実習生について

いま日本国内の産業の多くで労働力不足が深刻化しています。そんな中、ここ2、3年よく聞かれるのが「技能実習生」というワードです。

これまでも日本は、労働力として、日系ブラジル人や中国人技能実習生を受け入れてきましたし、にかほ市内でも以前から被服関係を中心に技能実習生の受け入れを行ってきました。最近では、ベトナム人を中心に、多くの技能実習生がにかほ市に來ています。そして、この傾向は今後ますます拡大していくものと思われる

## ■ベトナムという国

ここでベトナムという国について多少触れておきたいと思います。この国は、まもなく1億人を突破する平均年齢が31歳の若い国です。ただ、一人当たりのGDPは2、600ドルほどで、インフラもまだまだ未整備であり、国力としては中進

国という位置づけです。ですが、私見ではありますが、都市部で進む急速な近代化を見ると、日本の高度経済成長期の始まりにも似ていて、誰しもが今日よりも明日の幸せを信じて前へ進もうとする勢いを感じさせる国だと思いました。

また、まじめで勤勉な国民性と識字率の高さ、加えて仏教文化による親和性などから、私たちにとっては関係性を築きやすい国であるとも言えますし、将来的には、間違いなく消費市場としても発展する魅力のある国だとも思いました。

## ■「この扉を潜り抜けると知識と成功の楽園がある」

これはハノイの日本語訓練センターの入口に掲げられた標語です。18歳から20代後半までの若者が、家族の幸せを夢見て日本に働きに行こうとしています。ある若い母親は、2人の子どもをおいて、3年間日本で働くんだと屈託のない笑顔で話してくれました。多額の借金をして、子どもと3年間会えなくなるのを覚悟で日本にやってくるのです。3年後の幸せを信じて…。

## ■市として

3年間ににかほ市に暮らす彼らが、ふつうに生活していけるようなお手

伝いができればと思っています。それは決して大きなものではなく、たとえば彼らが気軽に町内会行事や市内のイベントに参加したりできるようなことなどです。また、市の魅力を知ってもらい、いいところだったなと感じてもらえるような取り組みもあっていいと思います。実際、今年になって、いろいろな人にお手伝いいただきながら、元滝トレッキングやベトナム料理教室の開催などを行っていますし、日本語教室を開いていたいただいています。

外国人技能実習生による労働力の確保という施策が今後どのように展開していくかはわかりません。しかしながら、現時点で、市内の労働力をベトナムの若者に補ってもらっているとするならば、私たちがどのような気持ちで彼らに接するべきかは自ずと見えてくるのではないでしょう



にかほ市長  
市川雄次

